



子どもの日 かつおまつり



上：かつお節削り大会
下：名物カツオバーガー
上：気分十分 かつお一本釣り大会
下：子どもに大人気！カツオジャー
下：RENS、吾妻流藤波会、プエンマンの共演に会場が沸く
上：家族連れでにぎわった下：子ども太鼓「海っ鼓」



上：各地から空好きが集まった下：防災ヘリ「さつま」を見学
上：第2ふじ保育園の太鼓演奏
下：さあ空へ…いってきます！



市制60周年記念 枕崎空港 スカイフェスタ

空の魅力がいっぱい 詰まった2日間

■枕崎空港スカイフェスタが5月23、24日、枕崎空港で開催され、県内外から2日間、約5,000人が訪れ、空の魅力を楽しみました。
本フェスタは、体験型イベントをとおし、子どもから大人まで、飛びこの楽しさや飛び込みの素晴らしさ、飛行機をつくることの喜びを実感し、航空に興味と理解を深めることを目的としたものです。

■羽生ソアリングクラブや第一工業大学などの協力のもと、グライダーやセスナなど16機が集まり、飛行体験や折り紙飛行機作成教室など、来場者は様々な催しを楽しんでいます。
モーターグライダーで飛行体験をした小溝隼人くん(南九州市 小3)は「海や家がきれいだった。もう一度乗ってみたい」と話してくれました。

祭りだ元気がいっぱい かつおまつり

■「子どもの日かつおまつり」が5月4、5日、地場センターを中心に開催され、家族連れなどでにぎわいました。たくさんの子もたちが、恒例のかつお一本釣り大会やかつお節削り大会など、様々な催しに参加し、楽しく連休のひと時を過ごしました。

カツオに見立てた砂袋を釣り上げるかつお一本釣り大会では、一生懸命釣り上げようとすると子どもたちが会場から大歓声が送られていました。2日目には5kgを上げ小学生高学年の部で優勝した榎木耕成くん(令神小6年)は「半の遠くを持って糸をピンと張って持ち上げるのがコツ」と話してくれました。かつおバーガーやかつおラーメンなど、ご当地グルメの出店も多く、お昼時になると多くの人が並び、あつという間に売り切れるなど大人気でした。また、水産高校の生徒たちも、かつお体験やヒラメの放流などで楽しませてくれました。

Pick Up



▲おいしい新茶に心も爽やか

桜山中ブランド なん茶っティー

■桜山中学校の生徒が4月23日、木場町の茶畑で茶摘み体験して摘んだ新茶を、かつおまつりで同校生徒会が販売しました。

当日は試飲もあり「とてもおいしい」と大評判。約50kg用意していた新茶は見事に完売しました。



▲コールみつば、コーロ・フェリーチェ、枕崎少年少女合唱団は「崖の上のピエロ」などを披露。出演した新 幸徳さん(枕崎小6年)は「歌い始めたら緊張もほぐれた。すごく楽しめた」と話してくれました。

■枕崎ミュージックフェスティバルが5月16日、市民会館で開催されました。今回、ブルガリア出身のチェリストラチエザール・コストフさんが特別出演。美しいチェロの音色に来場者は聴き入っていました。
また、MOBODXによる軽快な音楽や、竹井文子さん、岡辻英里香さんの高校生ユニットによるピアノ演奏など、多彩な内容に会場は大いに盛り上がりました。

市役所にかつおのほりを掲揚



■子どもたちの健やかな成長を願い、またかつおまつりを盛り上げようと4月30日、市役所前にかつおのほりを掲揚しました。掲げてくれたのは、枕崎小学校1年生。「鯉のほり」の歌をかつおのほりに替えて歌いながら、元気がかつおのほりを泳がせました。

市制60周年記念 枕崎ミュージック フェスティバル



Sky Dream ～空に思いを馳せる人たち～



▲岸浦武繁さん ▲折り紙飛行機製作教室

紙飛行機は私の「夢」

■今年の5月2、3日にオーストリアで開催された紙飛行機の世界大会で優勝した岸浦さん。そんな彼が教えてくれた折り紙飛行機製作教室では、今まで見たことのない紙飛行機に子どもたちは興味津々。岸浦さんの丁寧な指導で全員思い思いの紙飛行機を作って飛ばしました。参加した岩元愛茄さん(枕崎小1年)は「よく飛んだ。家でも作ってみたい」と話してくれました。

岸浦さんに紙飛行機の魅力について尋ねると「1枚の紙でいつでもどこでも楽しめるのが魅力。紙飛行機は私の夢ですね」と爽やかに話してくれました。

Pick Up



▲フェスタを盛り上げてくれた西日本航空協会のみなさん

造って鳥のように飛ぶ楽しみ

■プライマリーグライダー体験コーナーを担当していた西日本航空協会のみなさん。このグライダーは、ゴム飛行機のように、2本のゴムで引っ張って、その張力で飛ばすというもの。会長の前田建さんは「昭和15年に設計された機体を復元・修復しながら使っている。自分で造った機体で鳥のように空を飛ぶのが楽しい」と話してくれました。

